

平成 27 年度 行政経営方針

～市民の英知とともに、都市の魅力^{つたえ}を創造し、発信よう～

1 基本的な考え方

(1) 第六次前橋市総合計画改訂版の推進

超高齢社会と人口減少社会が現実のものとなり、多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られています。とりわけ、本格的な人口減少社会への対応は喫緊の課題です。民間有識者からなる日本創成会議が公表（26年5月）した将来推計では、2040年までに全国の自治体の半数が将来的な消滅の危機にさらされるとしています。本市においても、この大きな危機から目を背けることなく、着実な備えを進めなければなりません。

こうした中、前橋市では、平成25年度を初年度とし、平成29年度を目標年度とする「第六次総合計画改訂版」を策定し、市民とともに目指すべき将来都市像の実現に向け、様々な取り組みを進めています。

計画期間の3年目となる平成27年度は、将来にわたって安心して住み続けられる、持続可能な都市であるための基盤となる政策を積極的に展開することが求められます。

(参考) 日本創成会議が発表した本市の将来人口推計

2010年		2040年		若年女性人口変化率 (2010→2040)
総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性	
340,291	39,909	277,016	25,113	-37.1%

【多様化・高度化する行政課題（例）】

- ・ 超高齢社会と人口減少社会の到来
- ・ 環境負荷の少ない暮らしへの転換
- ・ 子どもを産み育てやすい環境の醸成
- ・ 経済環境の変化と産業政策
- ・ 市民参加による新しい公共の仕組み
- ・ 国交付金の減額（特例措置の終了）
- ・ 安全安心な暮らしへの更なる要求
- ・ 安定した社会保障制度への期待
- ・ 次代を担う「人財」養成の必要性
- ・ 都市のブランド力向上と観光戦略
- ・ 日常におけるICTの浸透
- ・ 老朽化する公共施設の管理・活用
(ファシリティマネジメント)

(2) 市政運営における重点施策の選定

これまでの行政運営は、「事業を計画し、その事業にどれだけ予算をつけ、どれだけ事業を実施したのか」という行政サービスの量に重点が置かれていました。しかしながら、本格的な少子高齢社会や人口減少社会の到来を迎え、市の財政状況がますます厳しくなる中、これまでのような行政運営を行うことは困難な状況にあります。

これからは、限りある財源を有効に活用しながら、行政サービスの質を向上させていくことが重要であり、そのためには、「事業を計画（PLAN）」し、「その事業にどれだけ予算をつけ、どれだけ

事業を実施したのか (DO)」に加え、「仕事を振り返って評価 (CHECK)」し、「評価した結果を次年度の予算編成や事業執行に反映していく (ACTION)」ことが不可欠です。

目指すべき将来都市像の実現に向け、平成 27 年度は何に注力していくのかという観点から市政の重点施策を選定し、予算編成との連動を図ることで、「選択と集中」や「成果志向」の視点に立った先見性ある行政経営の仕組みを構築します。

2 平成 27 年度 行政経営方針

こうした市政を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、本市が進むべき方向性を示す道標となる「第六次総合計画改訂版」を着実に推進するため、平成 27 年度においては、以下 3 つの施策を「重点施策」として選定し、特に力点を置いて取り組んでいきます。

重点施策 1 : 人口減少を見据えた「**持続可能なまちづくり**」を進めます

重点施策 2 : 市民のさらなる「**暮らしやすさ**」を追求します

重点施策 3 : 「**歴史・文化資源**」を活用し、都市の魅力を創造します

(1) 各重点施策の内容

重点施策 1 : 人口減少を見据えた「持続可能なまちづくり」を進めます

- 市街地総合再生計画の策定を契機とした「集約型都市構造への転換」
- 空き家の活用をはじめとする「新たな定住促進」の推進
- 産業振興ビジョンに基づく中小企業支援などオール前橋で挑戦する「力強い産業振興」
- 創業支援、新規就農支援、女性の活躍など「働く場の確保」

重点施策 2 : 市民のさらなる「暮らしやすさ」を追求します

- 少人数学級 (35 人学級) による「きめ細かな教育環境の整備」
- 5 歳児就学前健康診査や基幹相談支援センター設置による「子育て保護者への支援」
- 「健康寿命の延伸」に向けた事業推進によるスマートウェルネスシティの実現
- (仮称) まえばし地域活動ポイントをはじめとする「共助によるまちづくり」の推進

重点施策 3 : 「歴史・文化資源を活用」し、都市の魅力を創造します

- 大河ドラマ「花燃ゆ」のドラマ館を拠点とする「まちなか周遊観光の推進」
- 前橋空襲 70 周年を契機とした前橋の歴史・文化に対する「市民意識の醸成」
- 文化振興条例や近代歴史遺産の活用による「文化のまちづくり・文化の六次産業化の推進」

【参考】分野別の重点事業（重点施策に加え、各分野における優先度の高い事業を列挙）

(1) 暮らしの基盤・安全安心

事業名	概要
□まちなか定住促進施策の検討・実施	既存ストックを活用しつつ、民間主導によるまちなか居住の促進を図る「前橋市市街地総合再生計画」を策定するなど、集約型都市構造への転換を図ります。
□土地区画整理事業（市施行）の実施	道路や公園等の公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図るとともに、都市防災に強い安全安心な市街地整備を推進します。 （元総社蒼海地区、新前橋駅前第三地区）
□橋りょう長寿命化計画の推進	道路法関係法令の改正に対応した橋りょうの長寿命化対策を講じ、架け替えや修繕に係る費用の縮減や事業費の平準化を図ります。
□空き家を活用した定住促進	行政が空き家を利活用できる施策を講じ、本市の定住促進につなげます。
□老朽鋳鉄管の更新	老朽鋳鉄管の漏水・耐震対策を図るため、国の財政措置を有効に活用しつつ、計画的な更新を進めます。
□下水道施設の耐震化	緊急度の高い重要幹線にかかる下水道施設の耐震化対策や、老朽化が進む水質浄化センター3系処理施設の耐震診断を実施します。
□災害対策の強化	災害発生時の初期対応を円滑に進めるため、現地災害対策本部及び二次避難所への非常用電源設置を検討するなど強化対策を行います。
□ドクターカーの運用	早期医療介入による救命率の向上を図るため、ドクターカーの運用を実施します。
□消防団員の確保	団員の処遇改善や新入団員の加入促進により、消防団員の確保に取り組めます。
□全市域デマンド化の推進検討	移動困難者対策や公共交通不便地域の解消を目的としたデマンドバス（乗合タクシー）の市内全域への導入を検討します。
□前橋駅北口パーク&ライド駐車場整備	前橋駅の利便性向上及び鉄道交通の利用促進に向け、パーク&ライド駐車場による土地の高度利用を図ります。

(2) 環境共生

事業名	概要
□ごみの減量推進	27年度までに1人1日あたりの家庭ごみの排出量を100g減らすことを目標に掲げ、ごみの減量、リサイクル及び適正処理を推進します。

(3) 健康・福祉

事業名	概要
□特定健康診査等事業、健康推進事業	レセプト・特定健診データ等の分析を踏まえた事業を実施することにより、特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上を図ります。
□基幹病院の建て替え支援	前橋赤十字病院の移転・建て替えに対する支援を実施するほか、移転に伴う跡地利用については前橋赤十字病院跡地利活用検討委員会と連携しながら検討します。
□障害者の相談支援	総合的な相談窓口設置である基幹相談支援センターを開設し、障害者が地域社会で安心して暮らせる環境を整備します。
□5歳児就学前の健康診査	3歳児健康診査までに発見されにくい発達障害（またはその傾向）を就学前に発見し、個々の子どもに応じた専門的支援を行います。

(4) 産業活力

事業名	概要
□創業支援	産業振興ビジョンに掲げる目標達成に向け、インキュベーション施設の運営をはじめとする創業サポート事業を実施します。
□地域券（プレミアム付き商品券）の発行	市内の消費創出や中小商店の振興を図るため、本市独自のプレミアム付き商品券を発行します。
□農畜産物の流通販路拡大	市内外の各種イベントやトップセールスによるPRをはじめ、消費者ニーズに合わせた前橋産農畜産物の販路拡大を図ります。

<input type="checkbox"/> 林業対策	前橋産木材の利用促進や木育の推進を図るとともに、県の基金を活用した里山・平地林の整備や普及啓発活動を推進します。
-------------------------------	--

(5) 教育・文化

事業名	概要
<input type="checkbox"/> 少人数学級の充実	平成 27 年 4 月から、小 5・小 6 の単学級を対象に 35 人学級の少人数学級編成を実施し、きめ細やかな指導体制を構築します。
<input type="checkbox"/> 市立前橋高校の運営	生徒の学力向上に向け、習熟度別の少人数制授業を実施します。
<input type="checkbox"/> 公民館の改築・大規模改修	老朽化した永明公民館の改築に向け所要の準備を進めます。また、富士見公民館については、大規模改修工事に着手します。
<input type="checkbox"/> 小中学校のトイレ改修	校舎の大規模改造や新增築時に併せたトイレ改修に加え、トイレのみの大規模改造を年 2～3 校程度実施し、教育環境の充実を図ります。
<input type="checkbox"/> 大河ドラマ「花燃ゆ」プロジェクト推進	大河ドラマの放映を契機とし、歴史文化資源を活用した前橋のさらなる魅力発信と観光振興を図ります。また、農業や商工業と結びつけて新たな魅力を生み出す「文化の六次産業化」を進めます。
<input type="checkbox"/> スポーツコミッション（仮）組織の設置	本市のスポーツ振興や地域活性化を図るため、大規模大会誘致やスポーツメッカ事業を推進するスポーツコミッション（仮）組織を設置します。

(6) 協働・行政経営

事業名	概要
<input type="checkbox"/> 地域づくり活動の推進	持続可能な地域づくり活動及び市民活動を促進するため、「(仮称)まえばし地域活動ポイント制度」の社会実験を実施します。
<input type="checkbox"/> 行財政改革の推進	行財政改革推進計画（25～27 年度）に基づき、組織機構の見直しや民間委託の推進等を推進するとともに、次期行財政推進計画（28～30 年度）を策定し、さらなる行政サービスの充実を図ります。
<input type="checkbox"/> 市有財産の管理	市有施設の長寿命化を推進するとともに、複合化を含めた有効活用や統廃合について整理検討を行うなど、公資産活用（ファシリティマネジメント）の推進を図ります。
<input type="checkbox"/> 自主財源の確保	市税の適切な賦課徴収や税外収入の確保に加え、新規分野の開拓による新たな有料広告や、ネーミングライツの拡大を検討するなど、自主財源確保を推進します。